

募集要項

応募資格

・医師国家試験受験予定者または平成16年4月1日以降に医師免許を取得した者で
 卒後臨床研修未実施の者
 ・医師臨床研修マッチング参加者

選考方法

書類審査、専門試験（内科、外科、救急より出題）、小論文、面接

選考日

8月～9月初旬 までの間に複数回実施予定 ※いずれか1日を選択

募集人員・応募方法

さいたま市立病院ホームページをご覧ください。

処遇

身分

会計年度任用職員

報酬

月額（地域手当を含む） 1年次 336,748円 / 2年次 354,728円

賞与支給あり（6月、12月）

通勤手当、宿日直手当（1回21,000円）の支給あり ※給与改定や制度改正等により変わることがあります。

保険

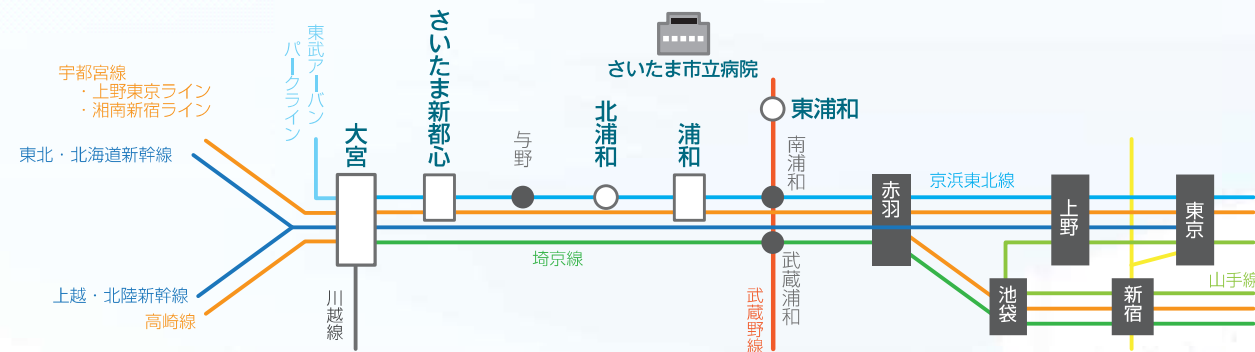
健康保険・厚生年金保険・雇用保険加入、労働者災害補償保険法適用

休暇

年次有給休暇10日、夏季休暇等あり

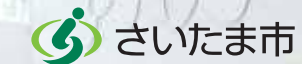
アクセス

北浦和	<p>○ JR 京浜東北線</p> <p>東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約15分）</p>	さい た ま 市 立 病 院
浦和	<p>○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン・湘南新宿ライン） ○ JR 京浜東北線</p> <p>東口 国際興業バス「南台」行「市立病院」下車（約20分）</p> <p>西口 東武バス北浦和経由「さいたま市立病院」行（約25分） 徒歩5分</p>	
東浦和	<p>○ JR 武蔵野線 ○ JR 京浜東北線</p> <p>国際興業バス「市立病院」行（約20分）</p> <p>国際興業バス「馬場折返場」行で終点下車（約15分）</p>	
さいたま新都心	<p>○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン） ○ JR 京浜東北線</p> <p>東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約30分）</p>	
大宮	<p>○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン・湘南新宿ライン） ○ JR 京浜東北線</p> <p>○ JR 埼京線 ○ JR 川越線 ○ 東武アーバンパークライン ○ 埼玉新都市交通</p> <p>東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約40分）</p>	



さいたま市立病院 臨床研修医募集案内

大切な2年間を
 充実させるために



さいたま市立病院

いしょの2年間を
かに過ごすか…

施設選択はととても重要なことと考えます。

い制が整っていて

んべんなく学ぶことができ

よう例数が豊富で

よう質な医療を提供し

ねに切磋琢磨し合える仲間が集う



臨床研修の理念

- 医師としての人格をかん養する。
- 医学及び医療の果たす社会的役割を認識する。
- プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付ける。
- 患者を全人的に理解し、尊重するよう努める。

臨床研修の基本方針

- 患者の呈する症状、身体的所見、検査所見に基づいた鑑別診断及び初期治療を的確に行える能力を修得する。
- 医療チーム構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協調・協力する習慣を身に付ける。
- 患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身に付ける。
- 急性期医療を中心として、科学的根拠に基づいた良質な医療を提供するよう努める。
- 病診連携の現場を体験し、地域の基幹病院及び診療所の役割を理解する。

院長挨拶 ～初期臨床研修を始められる皆さんへ～

さいたま市立病院は救急医療、周産期・小児医療、高度ながん医療、感染症治療において、地域の中核となるべく、職員が一体となって働いています。先進医療を可能とする手術場を整備し、救命救急センター機能を拡充、身体合併症を有する精神科病棟、緩和ケア病棟も設置し、オールラウンドな急性期病院として地域に貢献しています。

当院では、指導医が、研修カリキュラムにそって初期研修医の指導に当たっており、また、2年目の研修医が1年目の研修医をサポートすることにより、充実した研修ができる体制を作ってきました。地域医療研修は、石川県と提携し、能登半島の4病院での研修を行っています。これからの医療を担う初期研修医には救急の初期対応から、感染症への対応、高度医療の基本まで深く研修していただきたいと考えています。初期臨床研修の2年間という時間を有効に使う、医療の基本を一つ一つ身につけることで、2年修了時に自分が選択すべき道を主体的に決定できるようになると思います。

この病院を支え、発展させて行くために臨床研修医の力、熱い心は欠かせません。自分の成長を見つめ、医師としての基本を確立するために、当院での研修に参加していただけることを願っています。



院長
堀之内 宏久

プライマリ・ケア

急性期医療を実践する

周産期医療に触れる



救急医療

- 救命救急センター
緊急手術にも対応できる初療室(3床・CT・X-TV)
救急病棟20床(ICU6床、HCU14床)
- 充実した救急外来
診療室11床(診療室4室、ベッド7床)



急性期医療

- 手術室の高度化(ハイブリッド手術室等)
- 血管造影室、ICU、HCU
- 精神科身体合併症対応病棟



周産期・小児医療

- 陣痛室、LDR、胎児モニタリング室
- 地域周産期母子医療センター(産科病棟、分娩室、NICU、GCU、外来等)及び小児病棟のワンフロア化(成育母子医療センターの整備)



地域がん診療連携拠点病院

- 手術室(12室)(ダビンチ導入)
- 充実した放射線治療(リニアック・サイバーナイフ)、化学療法室
- 緩和ケア病棟
- がん患者、家族に対する相談室やがんサロン



災害拠点病院

- 地震、火災やテロ等大規模災害の発生時に初期救急医療を提供する病院としての機能
- 遠隔地の災害時に要請に応じて派遣される災害医療チーム(DMAT)



感染症指定医療機関

- 第二種感染症指定医療機関
- 結核指定医療機関



病院概要

病床数 637床
(一般577(救急20、緩和ケア20)・結核20・感染症10・精神科身体合併症30)

診療科

内科・消化器内科・呼吸器内科・精神科・脳神経内科・循環器内科・小児科・新生児内科・外科・消化器外科・血管外科・呼吸器外科・整形外科・リハビリテーション科・脳神経外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・放射線診断科、放射線治療科、麻酔科・救急科・病理診断科・緩和ケア内科

実績

外来患者数	924人/日
入院患者数	462人/日
救急外来患者数	44人/日
救急車搬送件数	6,779台/年
手術件数	4,833件/年
分娩件数	872件/年 (令和2年度)

フロアマップ

敷地面積	48,789.18m ²
建築面積	9,012.39m ²
階数	病院本館 地上10F 別館 3F

フロア	病院本館	別館
10F	機械室	
9F	一般病棟(緩和)、機械室、レストラン、屋上庭園	
8F	感染病棟、結核病棟、精神病棟、一般病棟	
7F	一般病棟、無菌室、開放病棟	
6F	一般病棟	
5F	一般病棟(小児科)、周産期センター外来、NICU、GCU、分娩、一般病棟(産科)	
4F	透析、臨床工学部門、中央材料室、手術、HCU、ICU	
3F	管理、医局、行動、外来、リハビリ、化学療法、売店	管理
2F	栄養管理、薬剤、外来、検体検査、生理検査	管理
1F	一般病棟(救急)、救急、ICU、感染外来、エントランス、患者支援センター、内視鏡、放射線診断、カフェ、キッズルーム	放射線治療 / 核医学

臨床研修管理委員長挨拶 ～大切な2年間を充実させるために～

当院は政令指定都市であるさいたま市の基幹病院の一つです。当院では2004年の初期臨床研修制度の開始時より研修医を受け入れ、研修医教育に取り組んできました。

当院の特徴は急性期病院であること、救急医療を重視していること、がん診療拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急は一次と二次救急、救命救急センターがあり、救急車の受け入れ台数は年間約7,500台です。このような当院の診療内容は、初期臨床研修の目標である common disease を多数経験し、primary care における minimal requirement を習得するのにたいへん適しています。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積むことができ、医師としての基本的診療能力、そして医師としての基本的姿勢や態度を身につけることができます。研修2年目の後半ぐらいになるとかなりの臨床能力を習得して、皆自信を持って診療に当たっていることを実感しています。これまでの初期臨床研修医教育の経験から、研修医の存在が病院を活性化し職員の向学心を刺激して病院の総合力をアップさせることを多くの病院職員が認識し、現在では研修医は病院の大切な一員となっています。

当院は2019年末に病床数637床の新病院が完成し開院しました。最新鋭の医療設備と医療機器が導入され、とくに救急医療の設備が充実しています。また近々、研修医や看護師の研修のためのシミュレーションラボ室も開設される予定です。

さいたま市立病院にはこのように臨床研修に必要な症例、設備、環境が整っています。医学生の皆さん、さいたま市立病院で初期臨床研修をやりませんか。



臨床研修管理委員長
神吉 秀明

研修プログラム

〈一般コース〉

本プログラムの目標は、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻りに遭遇する病気や病態 (common disease) に適切に対応できるようになるために、プライマリ・ケアの基本的診療能力(態度、技能、知識)を身につけることです。本プログラムは、この目標を達成するために、内科と救急に重点をおいたプログラムとなっています。また、全身管理を学ぶ目的で麻酔科研修を必修としています。選択期間においてはすべての診療科で研修できる体制を整えています。

1年目	内科 (26週)				救急 (9週)	小児科 (5週)	外科 (4週)	麻酔科 (4週)	産婦人科 (4週)
2年目	内科 (5週)	精神科 (4週)	地域 (4週)	救急 (4週)	選 択				

【外来研修】内科 (2年次) ローテーション中に1週、小児科ローテーション中に1週、外科ローテーション中に0.8週、地域ローテーション中に1.2週、それぞれ並行研修で行います。

〈小児科・成育医療コース〉

本プログラムの第一の目標は、日常診療で遭遇する頻度の高い common disease に適切に対応できるように、一般的なプライマリ・ケアにおける基本的診療能力を習得することであり、これに加えて周産期・小児医療に特化した研修を通して、小児科診療に必要な基礎知識と技術を身に付けることを第二の目標としています。本プログラムの特徴は、内科と救急の研修を重視していること、全身管理の基礎を学ぶ目的で麻酔科研修を必修にしていること、地域医療研修をへき地の医療施設で行っていることです。

1年目	内科 (26週)				救急 (9週)	小児科 (9週)	外科 (4週)	産婦人科 (4週)
2年目	精神科 (4週)	地域 (4週)	救急 (4週)	麻酔科 (4週)	交流科 (8週)	小児科 (18週)	選 択	

【外来研修】外来研修は、1年次と2年次の小児科ローテーション中に2.8週、地域ローテーション中に1.2週、それぞれ並行研修で行います。

【交流科】産科、小児外科をローテートします。

〈両コース共通〉

【地域医療】以下①②のいずれかの選択となります。

- ① 石川県奥能登の4病院 (珠洲市総合病院、公立宇出津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院) でのへき地医療研修
- ② 近隣の診療所 (医療法人明医研ハーモニークリニック) での研修

【精神科】当院及び埼玉県立精神医療センターで行います。

【選択研修】内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科/集中治療科、放射線科、リハビリテーション科、救急科、小児科/新生児内科、産婦人科、精神科、病理の中から選択できます。また、内科の場合は循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科などのサブスペシャリティー単位での選択もできます。外科の場合は消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科などのサブスペシャリティー単位での選択もできます。

研修医セミナー

毎週木曜日の夕方に研修医セミナーを開催しています。内容は、臨床に直結するような知識の講義、臨床に必要なスキルの講習、症例検討 (CPC や M&M カンファランス) などです。

セミナー開催テーマ

- 栄養と輸液のいろは
- 集中治療室での鎮痛・鎮静
- 急性腹症の対応
- せん妄の対応
- 心電図の読み方
- 食べ物アレルギーとアナフィラキシーの対応
- 虐待
- PICC ハンズオン
- 新生児蘇生法
- 医療安全解析 (実習あり)
- がん薬物療法の基本
- これだけは見逃さない! 救急での CT のみかた
- NIHSS のつけ方
- 救急現場での NPPV の適応と取り扱い
- 救命センターにおける外傷のいろは
- 医療保険のしくみと DPC について
- etc . . .

院内講習会

研修医は医療安全講習会、院内感染講習会、医療倫理講習会などの院内講習会への参加が義務付けられています。

臨床研究

医師としての自己学習能力を養うために、臨床研究と学術発表の機会を与えるようにしています。

臨床研修環境



■ 各種シミュレーション教育

院内でのシミュレーション教育や外部研修を実施しています。

■ 研修医室

各自のデスクが与えられ、環境も整っています。



■ 図書室

最新医学書・雑誌などを揃えており、職員が自由に利用できます。

■ インターネット環境

図書室、研修医室、各病棟で利用できます。

■ アセンブリーホール

研究会や講演会等で使用されています。

■ レストラン



■ カフェテリア

■ コンビニ

■ スタッフラウンジ

■ 保育室

私の市立輪島病院研修

私が個人的に地域研修を行う前と後で最も意識が変わったことがあります。それは、「どんな地域であっても、人材さえいれば質の高い医療は行える」ということです。当初は輪島で色々な面での医療の限界を感じてさいたまに帰ってくるのかななどとおこがましくも思っていたのですが、それは全くの誤りであり、実際には非常に優秀な先生方のもとで緻密な内科・外科的管理が行われており、私の認識はすぐに正されました。もちろん、機材の面での資源不足などはあったかもしれませんが、ネットなどを通じて医学知識のアップデートは可能であり、頭脳や情熱を持った人材さえいれば日本のどこにいても質の高い医療を行うことができるということを学ばせていただきました。人格的にも医学的にも尊敬する先生方とのたくさんの出会いがあり、今後の医師人生の中で大きな収穫を得、背筋が伸びる思いでさいたまに帰ることとなりました。

すず 珠洲市総合病院での1ヶ月

珠洲総合病院は能登北部の4つの救急指定病院の一つで195床の中規模病院です。先生方はそれぞれの専門性を保ちながらも、よく見る疾患から専門外なのでは？と思われる疾患まで幅広く柔軟に対応されていました。総合診療という言葉は我々も学生時代から腐るほど耳にしてきましたが、実際に臨床の場にでると高い水準でのその実践は難しく、必要に迫られる地域医療こそ本当に手練れの医者のみができることなのかもしれないと思いました。また、自分が目指していることをもう一度考えさせられる機会にもなりました。『先生が将来足元を掬われるのは自分の専門分野じゃなくて、専門じゃなくても見なくちゃいけない分野だ』と言われ、自分の不勉強を痛感させられました。研修生活も終わりに差し掛かるこのタイミングで地域医療に少しでも身をおき、また一つ自分の医療に対する考えの懐が広がった気がしました。



Q1

研修体制や指導医、指導体制はどうなっていますか？

上の先生について受け持ち患者さんのディスカッションをします。上級医は聞きやすい雰囲気のできるドクターが多く、皆教育熱心なので色々な考え方を学べます。

Q2

選択期間は、どんな科を回れますか？

病院にある全ての科を回れます。NICU、小児外科、放射線科なども回れます。自身の進みたい診療科を重点的に取る人もいますし、内科志望で満遍なく内科を取る人もいます。

Q3

さいたま市立病院以外で研修をする機会はありますか？

- ・精神科は当院及び埼玉県立精神医療センターで研修します。
- ・地域医療（4週）は①②のいずれかを選択できます。
- ①石川県奥能登の4病院（珠洲市総合病院、公立宇出津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院）でのへき地医療
- ②近隣の診療所（医療法人明医研ハートクリニック）での研修

Q4

病院からどのくらいの距離に住んでいて、通勤手段はなんですか？

- ・北浦和・浦和駅近辺に住む人が多く、バス通勤が多いです。
- ・病院の近くに住んでいます。晴れの日には自転車、雨の日には徒歩です。
- ・実家から通っています

Q5

学会発表の機会はありますか？

様々な学会で発表のチャンスがあります。温かい指導のもと、自分が知らなかったことを教わったり、良い質問をもらって新しい視点に気づいたり、恵まれた環境です。

Q6

カンファレンスやセミナーはありますか？

毎週木曜日夕方に研修医セミナーがあり、内容はどれも役立つものばかりで、外部の先生を招聘することもあります。また、各内科ローテーション中には必ず週1回以上のカンファレンスがあり、プレゼンの機会があります。さらに、定期的に抄読会や勉強会を行っており、スタッフの先生とペアになって英語論文を読みこなし、様々な形式でプレゼンをします。

公立穴水総合病院での地域医療研修

穴水町は人口8445人、3768世帯で、日本海側でありながら穴水湾の海は非常に穏やかで、まるで湖のような景色が続いている自然豊かで美しい町です。

最も印象的であったことは、これまでの初期研修で行ってきた急性期病院とはまた違った「地域医療の温かさ」です。小さい町であればあるほど、住民同士のつながりも深いことから、医療的な面のみでなくそれぞれの生活背景に寄り添い、課題の根本的な解決を目指して他職種がチームとなり話し合う姿、地域で支え合っている姿の温かさに田舎の良さを感じた1ヶ月間でした。その中でも地域医療ならではの経験ができたのは、児診療所での研修や訪問診療でした。これからの高齢化社会に対し需要の多い症候学の知識、地域医療に必要な地域とのつながりを生かした医療が、今後の高齢化社会でプライマリーケアを行う上で求められることを実感しました。

うしつ 公立宇出津総合病院・珠洲市総合病院にて

能登町は人口が17,000人程度であり、珠洲市は人口が14,000人ほどとされ、ともに高齢化率が40%を超えています。両病院は過疎化が進む地域の医療を担う中核病院として機能しています。

今回の地域研修では、地域医療での「総合診療」の重要性を痛感しました。医師数が少なく各診療科の専門医が少ない場合があるため、内科の先生が外傷患者の創処置を行うこともあれば、外科の先生が心不全の初期対応を行うなど、本当に幅広い分野の診療が求められます。最近ではドクターGなどで有名になった総合診療医ですが、過疎化が進む地域医療では、総合診療医を育てることが喫緊の課題とされています。そうした現場にわずかな期間でも身を置くことが出来たことは大変貴重な経験になったと思います。





安永 浩基
(令和4年度研修医2年次)

心地よい情熱を持った人達に囲まれて研修を送っています

当院のことでぜひお伝えしたいのは、「心地よい情熱を持った方が多い」ということです。どの科でも、私が困っていると上の先生が優しく話かけて、一緒に解決策を考えてくださります。また、研修医もその科の一員として接していただくため、主体性を持って業務に動じることが出来ます。そのため、自前でアクセスメントした内容を上級医に伝え、その feedback をいただき、それを踏まえて次の一手を相談しながら考える、といったサイクルを繰り返しつつ知識を吸収していくことが可能です。

もちろん、医師だけではなく、看護師やソーシャルワーカーなど様々な職種の方と密にやりとりしています。特に看護師さんは、病棟であたたかしていると向こうから声をかけて協力してくださることが多いです。

当院は活発なコミュニケーションがしやすい環境が自然と築かれており、皆の力で患者を良くしようという熱意を日々肌で感じます。私自身も、研修医だから…と一歩引くのではなく、積極的にその輪の中に入っていき、患者の最善を目指して努力しています。



中平 紗耶香
(令和4年度研修医2年次)

病院全体として研修医を育てようとする雰囲気が魅力です

私が医師一年目として働き始めてから、もうすぐ一年が経とうとしています。自身の無力さに悔しい思いをすることもありますが、日々学びのある充実した毎日を送っています。

この病院で研修してきてよかったと感じることは多々ありますが、その中でも当病棟の雰囲気の良いところについてご紹介したいと思います。

まず、当病院の上級医は教育熱心で優しい方たちばかりです。

実臨床に役立つ知識を一から丁寧に教えてくれますし、まずは研修医からいろいろな手技をやらせてくれようとしてくださいます。自ら学びにくい積極的な姿勢だとより一層丁寧に教えてくれますが、最初に何もわからず戸惑っている中でも、「何か困っていることはない?」と気にかけてくださる先生が本当に多いと思います。

またコミュニケーションを含むすべての職員さんが優しく、きさくに接しやすい方たちばかりです。研修医は当直業務をはじめ救急外来で働く機会が多いですが、救急は特に看護師や放射線技師、医療クラークなど様々な立場のスタッフがチームとなって診療に当たります。技術も知識も十分ではない研修医でもチームの一員として認められます。チーム一丸となってスムーズに診療が運んだ際には達成感を覚えることもしばしばです。

05-108
私が経験した症例を共有しあったり、有志で勉強会を開催したりと切磋琢磨する姿もあります。そして、一人では解決できない疑問点も、先輩方は気軽に話を聞いて、優しく丁寧に教えてくださります。こうした心強い先輩方の姿を間近に見ながら、自分も同じように成長していきたいと強く感じます。

さいたま市立病院は、周りに自然が広がりながらも、駅の方に出ると都心までのアクセスは30分ほどと素晴らしい立地です。また、一昨年より新病院となり、綺麗で設備の整った中で研修ができます。楽しく、のびのびと、そして心の中では情熱を持ちながら研修をしたい!と考える方は、ぜひ当院に足を運んでいただくと幸いです。研修医として病院一同お待ちしております。

さらに同期も勉強熱心な人が多い印象です。例を挙げると、論文などの抄読会や、救急外来で疑問に思ったこと、学びがあった症例などの勉強会を研修医同士で自主的に始めました。また日々の小さな学びをSNSで共有するなど、熱心なだけではなく、みんなで情報をシェアし、同期や先輩後輩全体で支えあおうという文化があります。このような点でも先輩や同期に恵まれていると感じています。

この一年を振り返ってみて、私たち研修医が少しずつでも一歩一歩着実に前に進んでいるのは、病院全体として研修医を育てようとしてくださっている雰囲気のおかげだと思っています。雰囲気の良さは実際に肌で感じないとわかりませんが、機会があればぜひ一度見学に来てみてください。歓迎します!